

アクト・オブ・キリング (2012)

THE ACT OF KILLING

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 デンマーク／インドネシア／ノルウェー／イギリス

色彩 Color

時間 121分

初公開日 2014/04/12

公開情報 トランスフォーマー

【キャッチコピー】

60年代、密かに行われた100万人規模の大虐殺。
いまも“英雄”として優雅に暮らすのその実行者たちに
ひとりの映画作家がカメラを向けた――

「あなたが行った虐殺を、もう一度演じてみませんか？」

【解説】

1965年から66年にかけて、インドネシアで政権を巡る権力闘争を引き金とした20世紀最大規模の大虐殺が発生する。事件の真相は闇に葬られる一方、殺害を実行した者たちは罪を問われることなく、今なお英雄として平穏な日常を送っている。本作は、そんな殺人部隊のリーダーにカメラを向け、殺戮がどのように行われたかを加害者たち自身による再現で映像化し、その衝撃の真相を明らかにしていくとともに、この恐るべき行為を実行した当事者の心の内に迫っていく衝撃のドキュメンタリー。製作総指揮は「フォッグ・オブ・ウォー マクナマラ元米国防長官の告白」のエロール・モリスと「グリズリーマン」のヴェルナー・ヘルツォーク、監督はジョシュア・オッペンハイマー。なお本作では、製作に関わった多くの現地スタッフは、名前を明かすことが様々な危険を伴うとの理由から“ANONYMOUS（匿名）”としてクレジットされている。また本作の大ヒットを受け、劇場公開版より40分以上長い「オリジナル全長版」（166分）も一部劇場にて上映が実現。

【クレジット】

| | | |
|-------|----------------|----------------------|
| 監督 | ジョシュア・オッペンハイマー | Joshua Oppenheimer |
| 共同監督 | クリスティーヌ・シン | Christine Cynn |
| 製作 | シーネ・ビュレ・ソーレンセン | Signe Byrge Sørensen |
| 製作総指揮 | エロール・モリス | Errol Morris |
| | ヴェルナー・ヘルツォーク | Werner Herzog |
| | アンドレ・シンガー | Andre Singer |